

第2回御代替りを寿ぐイベント【大嘗祭と阿波忌部～貴方の中に宿るもの】



日時：7月14日（日） 19時～21時

会場：目黒パーシモンホール（小ホール）

定員：200名

会費：2,999円（Peatix決済）

<https://awainbe2019.peatix.com/view>

徳仁今上陛下は大嘗祭という一世一代の宮中最大にして最高の儀式を経て本当の意味の天皇陛下と成られます。

歴代125代の天皇の霊威を引き継ぐために大切な儀式であり、
霊の依り代としてのアラタエ（大麻の布）が大変重要な役割を果たします。

前回第1回の様子

2019年3月30日 御代替わりを寿ぐ 大嘗祭と阿波忌部

「大嘗祭の本当の意味とは
大きな役割を果たしてきた阿波忌部族とは」をテーマに開催しました。

詳細を下記のページで紹介しております。

<https://iwillbe.co.jp/awainbe2019/>

日本人にとって、大嘗祭の大切な意味を改めて感じあいたい

200年ぶりの生前譲位による御代替りに迫ったこの日を選び、私たち日本人にとって、大嘗祭の大切な意味を改めて感じあいたいと願い企画しました。大嘗祭の本当の意味とは大きな役割を果たしてきた阿波忌部族とは激動の今を生きる私たちにどんな価値があるのか。

阿波忌部研究の第一人者、林博章先生を徳島からお迎えし私たち日本人が今是非知っておくべき大嘗祭の意味を語っていただきながら、長年の同志として友情をあたためてきた松前兼一氏と共に、阿波忌部スピリット(透明感・平和的感性・共生み)復活の現代的意味とは価値を語り合いました。

日本の未来に向けて、日本人自らが、日本の原点とは何か、日本とは何かを語れるようにならねばならない。それは日本人の自立であり、『大嘗祭』の斎行と阿波忌部の歴史を見つめ直すことで、日本人は未来への輝かしい日本創生への一步を踏み出すことが求められる時代に来ている。

そして、日本人が本来が宿している調和性の力を、音で体に響き感じるために

「御代替わりのコンサート」

オープニングでは竹林加寿子さんの歌と落合みおさんのフルート

現役の神職であり、言霊を紡ぐ唄い手と称される涼恵（すずえ）さん

阿波忌部氏の直系の末裔である三木家の麻畑の前で歌を奉納された奉納アーティスト竹林加寿子さん

心に響く素晴らしい歌声と演奏に包まれました。

【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：株式会社アイウィルビー

担当者名：松前兼一

TEL：03-6324-7300

Email：info@iwillbe.co.jp

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>